

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	・習った漢字を文章で使うことがまだ難しい。作文など文を書く時に、習った字を平仮名で書いてしまう児童もいる。また、漢字、片仮名、促音など、間違っている児童もいる。	・漢字の学習の際に引き続き使い方を全体で確認し、使い方を理解できるようにする。また、文章を書く時にも、習った字は漢字で書く、促音など平仮名を間違いない書くことができるようにし、定着を図る。	
算数	・身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりすることに課題がある。	・身の回りのものの量の大きさ調べ、記録する学習活動を設定する。また、それらを基に量の大きさの見当をつける学習活動を設定する。	
生活	・観察するものの特徴を捉えて観察することはできるが、状態の変化について気付けない児童が多い。	・気付きの質を高めるために、それ以前の観察や体験での共通点や相違点を示すことで、気付きを価値付け、質を高める。	
音楽	・曲の雰囲気や特徴には気付いているが、それをどう表現するかという思いや意図にまだ結び付いていない。	・曲の雰囲気や特徴に合った表現ができるように、色々な表現方法を試すことで、工夫する楽しさを味わえるようにする。	
図画工作	・図画工作科の学習を楽しみにしている児童は多いが、発想力に差がある。	・行為や感触から作品づくりの発想をもつことができるような題材を用いて授業を行う。どの子も発想がもて、作りだす喜びを感じられるようにすることで学びに向かう力を一層高めていく。	
体育	・なぜできるようになったのか、工夫したポイントを自分で把握して友達に伝えることが難しい児童がいる。	・運動遊びのポイントを明記した学習カードを用いて、ペアで見合ったり、友達に工夫したことを伝えたりする場を設定する。また、手本となる動きが見られるデジタルコンテンツ等を活用し、ポイントがどこかを視覚的に理解し、言語化できるようにする。	